

南阿蘇村 復興むらづくり だより

復興推進課

TEL(67) 1113



■「住まいの見学会」が行われました

平成30年5月27日、応急仮設住宅の入居者を対象に、熊本地震から自宅を再建された人の住宅を見学する「住まいの見学会」が行われました。

当日は、住宅の持ち主の方にご協力いただき、住宅外観だけでなく室内も見せていただいたり、建築業者や住宅ローンの話を聞いたりしました。実際に再建された住宅で話を聞くことができ、今後の自宅再建を考えている参加者にとって大変貴重な機会となりました。

今後も、見学会や昨年も行った相談会などを通して、住まい再建を支援していく予定です。



住まいの見学会の様子①



住まいの見学会の様子②



リバースモーゲージ型融資について話される今村さんご家族

【リバースモーゲージを活用して自宅再建】

見学会では、リバースモーゲージ型融資を活用して自宅を再建された今村さんのお宅も見学させていただきました。その中でリバースモーゲージについても聞かせていただき、借入者が亡くなった後の土地・建物の売却による一括返済だけでなく、住んでいる間の返済や相続人による一括返済など様々な返済方法を選択することができ、子や孫が住むこともできることから、安心して借入れたことなどをお話いただきました。

■自宅再建諸経費助成事業 「中古物件購入」も対象に

平成30年1月から新たに制度受付を始めた「自宅再建諸経費助成事業」の対象者が拡充されました。受付当初は村内で新築された場合のみが対象となっておりましたが、拡充後は村内で中古物件を購入された場合も対象となります。

追加となった要件等については次のとおりです。

○対象者

南阿蘇村内で中古住宅を購入した者

○補助金額

中古住宅購入及び土地取得額の合計額(税抜き)に5%を乗じた額または100万円のいずれか低い金額

■「住まい再建に向けた相談窓口」の設置 について

熊本地震からの住まい再建を目指す人を対象とした「住まい再建に向けた相談窓口」を毎週金曜日に設置しております。今度の住まい再建に向けたお困りごとや、行政の支援制度の内容についてなど、お気軽にご相談ください。なお、特に事前予約制ではありませんので、当日時間内いつでもお越しただいて構いませんが、時間によってはお待たせすることもありますので、ご了承ください。

○設置場所

長陽運動公園仮設団地 集落支援員事務所内

○開設時間

午前10時から午後4時まで

○相談員

2人

・P3〔KVOAD〕熊本災害ボランティアネットワーク職員

・熊本県住まいの再建相談支援室職員

■農振除外等の個別見直しについて

現在、農振除外等の個別見直しに関しては年2回(5月、11月)受付を行っておりませんが、平成30年度は、農業振興地域整備計画の全体見直しに伴う関係機関との協議や意見聴取を予定しているため、平成30年5月10日までの届出分をもって、見直し完了まで(平成31年4月予定)農振除外等の受付を一時停止することとしておりました。

しかし、被災された方々の震災からの復旧復興を最優先することを第一に考え、農業振興地域整備計画の全体見直しを1年間延期し、震災関連農振個別見直し関係(農振除外などによる農地の宅地化)の対応を随時行うこととなりました。

詳細については、相談を希望される場合には農政課(TEL(67)2706)までお問い合わせください。

第6回 南阿蘇鉄道再生協議会開催

南阿蘇鉄道の全線復旧に向け、県と地元自治体、同社で構成される南阿蘇鉄道再生協議会が5月24日、熊本県庁にて開催されました。

第6回目となる今回の会議では、国への南阿蘇鉄道復旧費用の継続支援などについて議論がなされ、中長期的に復旧工事を進めていくために必要な予算額の確保や今年3月に策定された南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づく取り組みについて、助言・支援をお願いするなどの内容により国へ要望活動を行うことで一致しました。

今回の内容を踏まえ、5月30日に協議会会長の田嶋副知事、吉良村長、草村高森町長が国土交通省へ要望書を提出し、今後の南阿蘇鉄道全線復旧・創造的復興に向けた動きを更に加速するものとなりました。



国への要望書提出の様子

阿蘇広域行政事務組合 養護老人ホーム湯の里荘落成式

「阿蘇広域行政事務組合 養護老人ホーム湯の里荘」が完成し、6月16日、落成式が行われました。

式には、国会・県議会議員、県職員や関係市町村長・議長のほか、阿蘇広域行政事務組合や工事関係者などが参加。施設の完成を祝いました。式の中で、阿蘇広域行政事務組合管理者の佐藤義興阿蘇市長は「新たな湯の里荘で、入所者の皆さまに安心、安全で快適な生活を提供したい」と述べました。

湯の里荘は、平成28年熊本大地震によって被災し、河陽地区から両併地区への移転と改修を決定。国の補助を受けて工事が進められました。

完成した新しい施設には、震災当時、県内13の施設に分かれて緊急避難をしていた入所者も順次入所される予定です。

養護老人ホーム湯の里荘

- 所在地 両併2385番地
- 施設構造 木造、平屋建て
- 総事業費 約7億1,318万円
- 建築面積 2259.00㎡
- 入所定員 50人

